

九州フォレスト・コンファレンス

九州の森林保有者間で討議、情報交換するため、平成22年3月に「九州フォレスト・コンファレンス」を開催。約40機関、約70人が参加しました。

情報交換会では、特に森林所有者から厳しい林業経営の現状等の紹介があり、活発な意見交換等が行われた。今後とも、森林所有者等との情報交換を行っていくこととしています。

1 趣 旨

九州では、森林・林業の発展のため、流域管理システムの下、民・国が連携して、森林の整備、林業・木材産業の活性化のための取組を推進するとともに、下流住民との連携強化等の取組を推進してきたところ。

今後とも地域林業の再生に向けて民・国連携の取組を推進する観点から、国有林と民有林経営者等との間での意見交換、情報の共有化等を実施することを通じて、これら関係者とのネットワークの構築を進めるとともに、具体的な連携・協力の取組につなげていくことを目的とする。

2 情報交換会の出席者

(1) 「九州地域における森林整備の推進に関する覚書」の締結者(6機関)

森林農地整備センター九州整備局、日本製紙、住友林業、王子製紙、王子木材緑化、九州横井林業

(2) 林業経営に意欲的に取り組んでいる森林所有者、森林組合、林業公社、森林農地整備センター 水源林整備事務所

(3) 県の県有林所管課

(4) 森林総研九州支所、九州育種場

3 情報交換会の主な内容

(1) 九州森林管理局からの情報提供

① 低コスト造林の取組

② 低コスト作業システム・木材の安定供給システム販売の取組

③ シカ被害対策

④ 九州間伐紙の取組

(2) 民有林関係者からの林業経営の現状、課題等の紹介(4人)

(3) 民・国連携の取組紹介

① 流域管理システムの下で行う民・国連携の推進

② 「五木地域森林整備推進協定」に基づく取組状況

③ 「対馬流域森林整備推進協定」締結に向けた取組

(4) 意見交換

